

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成20年8月21日(2008.8.21)

【公開番号】特開2007-18051(P2007-18051A)

【公開日】平成19年1月25日(2007.1.25)

【年通号数】公開・登録公報2007-003

【出願番号】特願2005-196072(P2005-196072)

【国際特許分類】

G 0 6 Q 50/00 (2006.01)

G 0 1 N 33/48 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 17/60 1 2 6 E

G 0 1 N 33/48 Z

【手続補正書】

【提出日】平成20年7月4日(2008.7.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

検体分析装置が検体を分析して得られる検体分析結果を処理する臨床検査情報処理装置であって、

精度管理用検体を検体分析装置で分析して得られた精度管理分析結果が承認されており、且つ、検体分析結果が所定の条件に合致する場合に、検体分析結果を承認する承認処理を自動的に実行する検体分析結果自動承認手段と、

検体分析結果の承認の入力を受け付け可能な検体分析結果承認画面を表示する検体分析結果承認画面表示手段と、

検体分析結果承認画面を介して検体分析結果の承認の入力を受け付けた場合に、検体分析結果を承認する検体分析結果手動承認手段と、

検体分析結果自動承認手段によって検体分析結果の承認処理を自動的に実行する自動承認モード、および、分析結果承認画面を介して検体分析結果の承認処理を実行する手動承認モードを切り替えるモード切替手段と、を備えることを特徴とする臨床検査情報処理装置。

【請求項 2】

検体分析結果承認画面表示手段は、精度管理分析結果が承認されているか否かの情報を検体分析結果承認画面に表示する請求項 1 記載の臨床検査情報処理装置。

【請求項 3】

精度管理検体分析結果の承認の入力を受け付け可能な精度管理検体分析結果承認画面を表示し、精度管理検体分析結果の承認の入力を受け付けた場合に、精度管理分析結果を承認する精度管理検体分析結果承認手段を備える請求項 1 または請求項 2 に記載の臨床検査情報処理装置。

【請求項 4】

検体分析結果手動承認手段は、精度管理分析結果が承認されており、且つ、検体分析結果承認画面を介して検体分析結果の承認の入力を受け付けた場合に、検体分析結果を承認する請求項 1 ～ 3 のいずれかに記載の臨床検査情報処理装置。

【請求項 5】

検体分析結果手動承認手段は、精度管理分析結果が正常範囲内にあり、且つ、検体分析結果承認画面を介して検体分析結果の承認の入力を受け付けた場合に、検体分析結果を承認する請求項 1 ～ 3 のいずれかに記載の臨床検査情報処理装置。

【請求項 6】

検体分析結果を記憶する検体分析結果記憶手段と、検体分析結果記憶手段によって記憶されている検体分析結果の中から承認されている検体分析結果を抽出し、抽出した検体分析結果を出力する出力手段と、をさらに備える請求項 1 ～ 5 のいずれかに記載の臨床検査情報処理装置。

【請求項 7】

検体分析装置が検体を分析して得られる検体分析結果を処理する臨床検査情報処理装置であって、

精度管理用検体を検体分析装置で分析して得られた精度管理分析結果が正常範囲内にあり、且つ、検体分析結果が所定の条件に合致する場合に、検体分析結果を承認する承認処理を自動的に実行する検体分析結果自動承認手段と、

検体分析結果の承認の入力を受け付け可能な検体分析結果承認画面を表示する検体分析結果承認画面表示手段と、

検体分析結果承認画面を介して検体分析結果の承認の入力を受け付けた場合に、検体分析結果を承認する検体分析結果手動承認手段と、

検体分析結果自動承認手段によって検体分析結果の承認処理を自動的に実行する自動承認モード、および、分析結果承認画面を介して検体分析結果の承認処理を実行する手動承認モードを切り替えるモード切替手段と、を備えることを特徴とする臨床検査情報処理装置。

【請求項 8】

検体分析結果を外部に出力し得る検体分析装置と、検体分析結果を受信し、処理する臨床検査情報処理装置と、を備える臨床検査情報処理システムであって、

臨床検査情報処理装置が、

精度管理用検体を検体分析装置で分析して得られた精度管理分析結果が承認されており、且つ、検体分析結果が所定の条件に合致する場合に、検体分析結果を承認する承認処理を自動的に実行する検体分析結果自動承認手段と、

検体分析結果の承認の入力を受け付け可能な検体分析結果承認画面を表示する検体分析結果承認画面表示手段と、

検体分析結果承認画面を介して検体分析結果の承認の入力を受け付けた場合に、検体分析結果を承認する検体分析結果手動承認手段と、

検体分析結果自動承認手段によって検体分析結果の承認処理を自動的に実行する自動承認モード、および、分析結果承認画面を介して検体分析結果の承認処理を実行する手動承認モードを切り替えるモード切替手段と、を備えることを特徴とする臨床検査情報処理システム。

【請求項 9】

検体分析結果を外部に出力し得る検体分析装置と、検体分析結果を受信し、処理する臨床検査情報処理装置と、を備える臨床検査情報処理システムであって、

臨床検査情報処理装置が、

精度管理用検体を検体分析装置で分析して得られた精度管理分析結果が正常範囲内にあり、且つ、検体分析結果が所定の条件に合致する場合に、検体分析結果を承認する承認処理を自動的に実行する検体分析結果自動承認手段と、

検体分析結果の承認の入力を受け付け可能な検体分析結果承認画面を表示する検体分析結果承認画面表示手段と、

検体分析結果承認画面を介して検体分析結果の承認の入力を受け付けた場合に、検体分析結果を承認する検体分析結果手動承認手段と、

検体分析結果自動承認手段によって検体分析結果の承認処理を自動的に実行する自動承認モード、および、分析結果承認画面を介して検体分析結果の承認処理を実行する手動承認

認モードを切り替えるモード切替手段と、を備えることを特徴とする臨床検査情報処理システム。

【請求項 10】

検体を分析して検体分析結果を得る分析手段と、
精度管理用検体を分析手段で分析して得られた精度管理分析結果が承認されており、且つ
、検体分析結果が所定の条件に合致する場合に、検体分析結果を承認する承認処理を自動
的に実行する検体分析結果自動承認手段と、

検体分析結果の承認の入力を受け付け可能な検体分析結果承認画面を表示する検体分析
結果承認画面表示手段と、

検体分析結果承認画面を介して検体分析結果の承認の入力を受け付けた場合に、検体分
析結果を承認する検体分析結果手動承認手段と、

検体分析結果自動承認手段によって検体分析結果の承認処理を自動的に実行する自動承
認モード、および、分析結果承認画面を介して検体分析結果の承認処理を実行する手動承
認モードを切り替えるモード切替手段と、を備えることを特徴とする分析装置。

【請求項 11】

検体を分析して検体分析結果を得る分析手段と、
精度管理用検体を分析手段で分析して得られた精度管理分析結果が正常範囲内にあり、且
つ、検体分析結果が所定の条件に合致する場合に、検体分析結果を承認する承認処理を自
動的に実行する検体分析結果自動承認手段と、

検体分析結果の承認の入力を受け付け可能な検体分析結果承認画面を表示する検体分析結
果承認画面表示手段と、

検体分析結果承認画面を介して検体分析結果の承認の入力を受け付けた場合に、検体分
析結果を承認する検体分析結果手動承認手段と、

検体分析結果自動承認手段によって検体分析結果の承認処理を自動的に実行する自動承
認モード、および、分析結果承認画面を介して検体分析結果の承認処理を実行する手動承
認モードを切り替えるモード切替手段と、を備えることを特徴とする分析装置。

【請求項 12】

検体分析装置が検体を分析して得られる検体分析結果を処理するために、コンピュータ
を、

精度管理用検体を検体分析装置で分析して得られた精度管理分析結果が承認されており、
且つ、検体分析結果が所定の条件に合致する場合に、検体分析結果を承認する承認処理を
自動的に実行する検体分析結果自動承認手段と、

検体分析結果の承認の入力を受け付け可能な検体分析結果承認画面を表示する検体分析
結果承認画面表示手段と、

検体分析結果承認画面を介して検体分析結果の承認の入力を受け付けた場合に、検体分
析結果を承認する検体分析結果手動承認手段と、

検体分析結果自動承認手段によって検体分析結果の承認処理を自動的に実行する自動承
認モード、および、分析結果承認画面を介して検体分析結果の承認処理を実行する手動承
認モードを切り替えるモード切替手段と、して作動させることを特徴とする臨床検査情報
処理用のプログラム。

【請求項 13】

検体分析装置が検体を分析して得られる検体分析結果を処理するために、コンピュータを
、

精度管理用検体を検体分析装置で分析して得られた精度管理分析結果が正常範囲内にあり
、且つ、検体分析結果が所定の条件に合致する場合に、検体分析結果を承認する承認処理
を自動的に実行する検体分析結果自動承認手段と、

検体分析結果の承認の入力を受け付け可能な検体分析結果承認画面を表示する検体分析
結果承認画面表示手段と、

検体分析結果承認画面を介して検体分析結果の承認の入力を受け付けた場合に、検体分
析結果を承認する検体分析結果手動承認手段と、

検体分析結果自動承認手段によって検体分析結果の承認処理を自動的に実行する自動承認モード、および、分析結果承認画面を介して検体分析結果の承認処理を実行する手動承認モードを切り替えるモード切替手段と、して作動させることを特徴とする臨床検査情報処理用のプログラム。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００７

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００７】

本発明の臨床検査情報処理装置は、検体分析装置が検体を分析して得られる検体分析結果を処理する臨床検査情報処理装置であって、精度管理用検体を検体分析装置で分析して得られた精度管理分析結果が承認されており、且つ、検体分析結果が所定の条件に合致する場合に、検体分析結果を承認する承認処理を自動的に実行する検体分析結果自動承認手段と、検体分析結果の承認の入力を受け付け可能な検体分析結果承認画面を表示する検体分析結果承認画面表示手段と、検体分析結果承認画面を介して検体分析結果の承認の入力を受け付けた場合に、検体分析結果を承認する検体分析結果手動承認手段と、検体分析結果自動承認手段によって検体分析結果の承認処理を自動的に実行する自動承認モード、および、分析結果承認画面を介して検体分析結果の承認処理を実行する手動承認モードを切り替えるモード切替手段と、を備えることを特徴としている。

【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００８

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００８】

なお、本明細書において、分析結果及び精度管理結果の両方について「承認」という表現を用いているが、分析装置により検体を分析した結果を「承認」とするとは、検査技師が分析結果を医師に見せてもよいと認めることを意味しており、また精度管理結果に関して「承認」とは、精度管理用の検体を測定した結果、分析装置が仕様通りの性能を発揮し得る状態であると認めることを意味している。

【手続補正４】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００９

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００９】

また、本発明の臨床検査情報処理装置は、検体分析装置が検体を分析して得られる検体分析結果を処理する臨床検査情報処理装置であって、精度管理用検体を検体分析装置で分析して得られた精度管理分析結果が正常範囲内にあり、且つ、検体分析結果が所定の条件に合致する場合に、検体分析結果を承認する承認処理を自動的に実行する検体分析結果自動承認手段と、検体分析結果の承認の入力を受け付け可能な検体分析結果承認画面を表示する検体分析結果承認画面表示手段と、検体分析結果承認画面を介して検体分析結果の承認の入力を受け付けた場合に、検体分析結果を承認する検体分析結果手動承認手段と、検体分析結果自動承認手段によって検体分析結果の承認処理を自動的に実行する自動承認モード、および、分析結果承認画面を介して検体分析結果の承認処理を実行する手動承認モードを切り替えるモード切替手段と、を備えることを特徴としている。

【手続補正５】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１０

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

また、本発明の臨床検査情報処理システムは、検体分析結果を外部に出力し得る検体分析装置と、検体分析結果を受信し、処理する臨床検査情報処理装置と、を備える臨床検査情報処理システムであって、臨床検査情報処理装置が、精度管理用検体を検体分析装置で分析して得られた精度管理分析結果が承認されており、且つ、検体分析結果が所定の条件に合致する場合に、検体分析結果を承認する承認処理を自動的に実行する検体分析結果自動承認手段と、検体分析結果の承認の入力を受け付け可能な検体分析結果承認画面を表示する検体分析結果承認画面表示手段と、検体分析結果承認画面を介して検体分析結果の承認の入力を受け付けた場合に、検体分析結果を承認する検体分析結果手動承認手段と、検体分析結果自動承認手段によって検体分析結果の承認処理を自動的に実行する自動承認モード、および、分析結果承認画面を介して検体分析結果の承認処理を実行する手動承認モードを切り替えるモード切替手段と、を備えることを特徴としている。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

また、本発明の臨床検査情報処理システムは、検体分析結果を外部に出力し得る検体分析装置と、検体分析結果を受信し、処理する臨床検査情報処理装置と、を備える臨床検査情報処理システムであって、臨床検査情報処理装置が、精度管理用検体を検体分析装置で分析して得られた精度管理分析結果が正常範囲内にあり、且つ、検体分析結果が所定の条件に合致する場合に、検体分析結果を承認する承認処理を自動的に実行する検体分析結果自動承認手段と、検体分析結果の承認の入力を受け付け可能な検体分析結果承認画面を表示する検体分析結果承認画面表示手段と、検体分析結果承認画面を介して検体分析結果の承認の入力を受け付けた場合に、検体分析結果を承認する検体分析結果手動承認手段と、検体分析結果自動承認手段によって検体分析結果の承認処理を自動的に実行する自動承認モード、および、分析結果承認画面を介して検体分析結果の承認処理を実行する手動承認モードを切り替えるモード切替手段と、を備えることを特徴としている。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

また、本発明の分析装置は、検体を分析して検体分析結果を得る分析手段と、精度管理用検体を分析手段で分析して得られた精度管理分析結果が承認されており、且つ、検体分析結果が所定の条件に合致する場合に、検体分析結果を承認する承認処理を自動的に実行する検体分析結果自動承認手段と、検体分析結果の承認の入力を受け付け可能な検体分析結果承認画面を表示する検体分析結果承認画面表示手段と、検体分析結果承認画面を介して検体分析結果の承認の入力を受け付けた場合に、検体分析結果を承認する検体分析結果手動承認手段と、検体分析結果自動承認手段によって検体分析結果の承認処理を自動的に実行する自動承認モード、および、分析結果承認画面を介して検体分析結果の承認処理を実行する手動承認モードを切り替えるモード切替手段と、を備えることを特徴としている。

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 1 3 】

また、本発明の分析装置は、検体を分析して検体分析結果を得る分析手段と、精度管理用検体を分析手段で分析して得られた精度管理分析結果が正常範囲内にあり、且つ、検体分析結果が所定の条件に合致する場合に、検体分析結果を承認する承認処理を自動的に実行する検体分析結果自動承認手段と、検体分析結果の承認の入力を受け付け可能な検体分析結果承認画面を表示する検体分析結果承認画面表示手段と、検体分析結果承認画面を介して検体分析結果の承認の入力を受け付けた場合に、検体分析結果を承認する検体分析結果手動承認手段と、検体分析結果自動承認手段によって検体分析結果の承認処理を自動的に実行する自動承認モード、および、分析結果承認画面を介して検体分析結果の承認処理を実行する手動承認モードを切り替えるモード切替手段と、を備えることを特徴としている。

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 1 4 】

また、本発明の臨床検査情報処理用のプログラムは、検体分析装置が検体を分析して得られる検体分析結果を処理するために、コンピュータを、精度管理用検体を検体分析装置で分析して得られた精度管理分析結果が承認されており、且つ、検体分析結果が所定の条件に合致する場合に、検体分析結果を承認する承認処理を自動的に実行する検体分析結果自動承認手段と、検体分析結果の承認の入力を受け付け可能な検体分析結果承認画面を表示する検体分析結果承認画面表示手段と、検体分析結果承認画面を介して検体分析結果の承認の入力を受け付けた場合に、検体分析結果を承認する検体分析結果手動承認手段と、検体分析結果自動承認手段によって検体分析結果の承認処理を自動的に実行する自動承認モード、および、分析結果承認画面を介して検体分析結果の承認処理を実行する手動承認モードを切り替えるモード切替手段と、して作動させることを特徴としている。

【手続補正 10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 1 5 】

また、本発明の臨床検査情報処理用のプログラムは、検体分析装置が検体を分析して得られる検体分析結果を処理するために、コンピュータを、精度管理用検体を検体分析装置で分析して得られた精度管理分析結果が正常範囲内にあり、且つ、検体分析結果が所定の条件に合致する場合に、検体分析結果を承認する承認処理を自動的に実行する検体分析結果自動承認手段と、検体分析結果の承認の入力を受け付け可能な検体分析結果承認画面を表示する検体分析結果承認画面表示手段と、検体分析結果承認画面を介して検体分析結果の承認の入力を受け付けた場合に、検体分析結果を承認する検体分析結果手動承認手段と、検体分析結果自動承認手段によって検体分析結果の承認処理を自動的に実行する自動承認モード、および、分析結果承認画面を介して検体分析結果の承認処理を実行する手動承認モードを切り替えるモード切替手段と、して作動させることを特徴としている。

【手続補正 11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 6

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 12】

【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0017
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正13】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0018
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正14】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0019
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正15】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0020
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正16】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0021
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正17】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0022
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正18】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0023
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正19】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0024
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正20】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0025
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正21】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0026
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正22】

【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 2 7
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 2 3】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 2 8
【補正方法】削除
【補正の内容】